

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	未来の希望を拓くまちづくりの推進プロジェクト	実施期間	平成27年度～	テーマ	その他（未来の希望を拓くまちづくり）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町には旧村から受け継がれる区・自治会による自主性・自立性のある地域活動が根付いているが、人々の価値観や生活様式の多様化が進み、人と人とのつながりの希薄化が懸念される中、今後も地域活動に対する支援を行い、「地域力」「自治力」を更に高めていく必要がある。</p> <p>特に、限られた財源の中で、複雑多様化する住民のニーズに応えていくためには、行政だけでは限界があることから、住民・事業者・行政がそれぞれの役割を分担し協力しあう「協働」の取組が必要不可欠となっている。</p> <p>また、本町が誇る美しい山々や川などの自然を次世代に残していくため、ごみの減量化や再生可能エネルギーの活用といった環境に配慮した取り組みの充実が求められている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>未来を担う世代に責任を持ってまちを引き継いでいくため、住民との協働によるまちの未来につながる施策の推進や再生可能エネルギーの利用促進による環境対策など、まちの将来像を見据えた施策を推進する。</p> <p>中でも、自治会等をはじめとする地域コミュニティや住民団体の力を活用した、住民との協働による各種事業を積極的に推進する。</p> <p>また、将来世代に本町の豊かな自然を残していけるよう、環境対策にも重点的に取り組む。</p>						
	総事業費（千円）	19,708	本年度事業費（千円）	19,708	交付金額（千円）	8,103	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	家庭用資源有効利用設備設置補助事業	交付対象事業	資源の有効活用を図るため、生ごみ処理機、雨水貯留設備の購入に対し補助を行う。		○家庭用資源有効利用設備（生ごみ処理容器、雨水貯留設備）の設置に対する補助を実施 ・補助件数：3件（生ごみ処理容器）		
	小型家電リサイクル推進事業	関連事業	レアメタル等の再資源化及びごみ減量化のため、小型家電の回収を行う。		○小型家電リサイクルの回収ボックスの設置 ・設置場所：町内3箇所（役場、総合文化センター、宇治田原郵便局）		
	空き家実態調査事業	関連事業	空き家及び倒壊危険家屋の実態調査を行い、今後の空き家対策推進の基礎資料とする。（地方創生先行型事業）		○町内全域における空き家及び危険建物の実態を把握するための調査として、「空き家等実態調査」を実施。 ・現地調査に基づき、174戸を空き家候補と判定（空家率4.7%）		
	集会所等整備事業補助金	交付対象事業	地域住民の活動の拠点となる集会所の整備・改修に対する支援を行い、自治運営の活性化を図る。		○集会所等整備事業補助金 ・補助件数：5件		
	コミュニティバス運行支援事業	交付対象事業	自治会によるコミュニティバス運行事業に対する支援を実施。		○奥山田・湯屋谷両区が運営するコミュニティバスの運行に対して支援を実施。 ※コミュニティバス運行内容 ・平日：20便／日（小学生スクールバス併用4便含む） ・土・日・祝日：18便／日 ・年間360日運行 ・27年度利用者数：7,585人（前年度比：+282人）		
	宇治田原山手線整備促進住民会議助成金	交付対象事業	宇治田原山手線の早期完成を目指す住民主体組織の活動に対する支援を実施。		○都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議の活動（広報紙作成、啓発資材購入等）に対する支援を実施		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	ともに創るまちづくり推進事業	交付対象事業	住民協働によるまちづくりを推進する「ともに創るまちづくり推進協議会」の運営を実施。	○「ともに創るまちづくり推進協議会」の運営を実施	
	宇治田原ものしり検定事業	交付対象事業	宇治田原町を広くPRするため、宇治田原町にまつわる様々な分野の問題で構成されたご当地検定を実施。	○第5回（最終）宇治田原ものしり検定の実施 ・受検者数：上級18人 ○宇治田原ものしり検定公式問題集の作成 ・A5版 150部	
	奥山田考房 里づくり事業	交付対象事業	高齢化、人口減少などの課題を抱える奥山田地区の地域活性化を検討・実践する。	○奥山田考房の取り組み（特産品開発、地域の伝統行事の開催等）に対する支援を実施	
	区自治行政推進事業	交付対象事業	地域住民の自治組織である区及び自治会の運営に対する支援を行い、自主的なまちづくりの活性化を図る。	○区等活動補助金の交付 ・交付対象：町内11区・自治会	
	環のくらし地域活動促進事業	関連事業	再生資源の集団回収に対し補助金を交付するとともに、自主的な環境活動を促進する。	○地域団体による自主的な再生資源の集団回収活動に対して、補助金を交付 ・実施団体：14団体 ・回収実績 新聞紙：196,480kg 段ボール：106,220kg 雑誌類：171,390kg 古布：26,410kg	
	婚活支援事業	関連事業	商工会及び商工会員による団体が主催する婚活事業に対する支援を行う。（地方創生先行型事業）	○婚活イベント『座禅でまじめに婚活in UJITAWARA』に対する助成を実施 ・参加者数：52名 ・成立カップル：7組	
成果指標①	成果指標の目標数値	コミュニティバス利用者数：7,303人維持（H26年度）		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	コミュニティバス利用者数：7,585人（H27年度）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	コミュニティバスの利用者数は8年ぶりに増加に転じた。これは、過去に実施したルート of 拡充が一定定着してきたことや対象者を一部拡充したためと考えられる。なお、28年度には老朽化した車両を更新し、更なる利便性の向上を図ることとしている。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	・宇治田原ものしり検定合格者数（累計）：のべ206人以上（H26年度） ・奥山田考房主催イベント回数：年4回以上（H26年度）		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	・宇治田原ものしり検定合格者数（累計）：のべ220人（H27年度） ・奥山田考房主催イベント回数：年5回（H27年度）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	宇治田原ものしり検定は、第5回を迎え「上級」試験の合格者が増加したことから目標数値を達成した。奥山田考房も地域での活動が定着化し前年度のイベント実施回数を上回ることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>本町では以前から非常に高い「自治力」「地域力」があり、各区や団体で自主性・自立性の高い取組が進められているが、それらの活動を更に促進、加速化するための各種支援を実施することで、各地域・団体の自主的な活動が活性化され、住民と行政による自助・共助・公助の協力体制の効果的な構築が図られている。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>国の地方創生交付金を活用した事業と府のみらい戦略一括交付金を活用した事業、町単独事業等とを組み合わせ、プロジェクトとして一体的に推進することで、住民の自治力・地域力を高める効果を挙げることができた。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>都市計画道路山手線については、府との連携なしでは実現が難しいことから、今後も府との協力体制の強化を図りながら取り組んでいくこととしている。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>住民の地域活動の拠点である集会所の整備補助をはじめ、各種団体の多様な活動への支援を積極的に行うことで、住民自らがまちづくりに関わろうという自治意識の向上や地域活動の活性化につながっている。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	
	<p>広域的波及成果</p>	
	<p>行財政改革に資する成果</p>	
	<p>その他の成果</p>	<p>環のくらし地域活動促進事業をはじめ、地域住民と行政が連携しあいながら環境活動に取り組むことで、本町の豊かな自然を次世代に残していこうという機運の醸成と地域活動の促進の両立が図られている。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。